

こぶし

41

支部大会参加しました



8月25日(土)、四国運輸支部大会が開催され、徳島海運分会から藤沢さんが参加しましたので、発言内容と感想をご紹介します。※会議の詳細は支部機関紙「かけはし」をご覧ください。

徳島本庁舎の人員が少なく電話がかかって来てもだれも出られないことや、求人案内や免許交付等でお客さんを待たしているし、だれもが年休も取りづらい。徳島海はみんなが組合に入っているが、集まって話し合う機会が少ないのももっとあればいいと思う。

個人的なことといえば宿舎のこと。二軒屋住宅に住んでおり、安くてもいいが、トイレは和式で、虫も出るなど、環境改善をしてほしい。古いと地震が来た際に命の危険もあると思っているので何とかしてほしい。



しっかりと発言した藤沢さん

参加した藤沢さんより感想紹介

○定期大会について

私は、正直そもそも組合とはどのようなものかよくわかっていませんでした。今回、定期大会に初めて参加し、職場をよくしたいという熱意を持った先輩方にお会いすることで、組合に対するイメージを持つことができました。

質疑応答の中で、職場の現状を話す機会があり、風通しのいい職場の雰囲気、人が足りないという職場の現状、自身の宿舎に対する不満などを発言しました。

定期大会を通して、**組合とは困ったときに助けてくれる心強い存在であることを実感**するとともに、ただ入るだけではなく、活動に参加し、声を上げることも大事であると感じました。今後も組合活動に積極的に参加していきたいと思います。

○懇親会の感想

前日の懇親会にも参加し、役員の方々と仕事の話などをする中で、親睦を深めることができました。皆さんの話が大変面白く、**気がつくとも23時を過ぎていました**。次の日に疲れが残りましたが、それ以上に有意義な時間でした。